

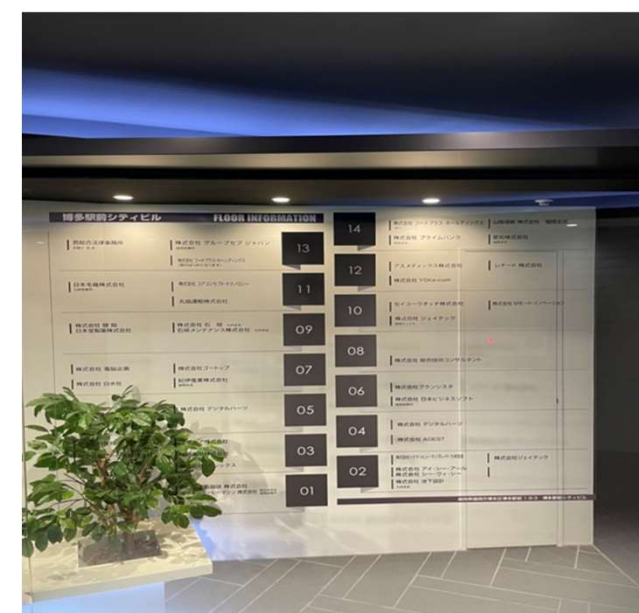
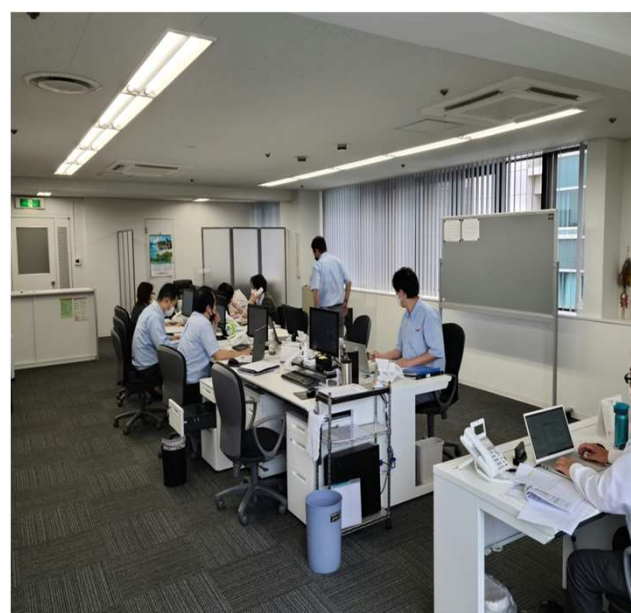
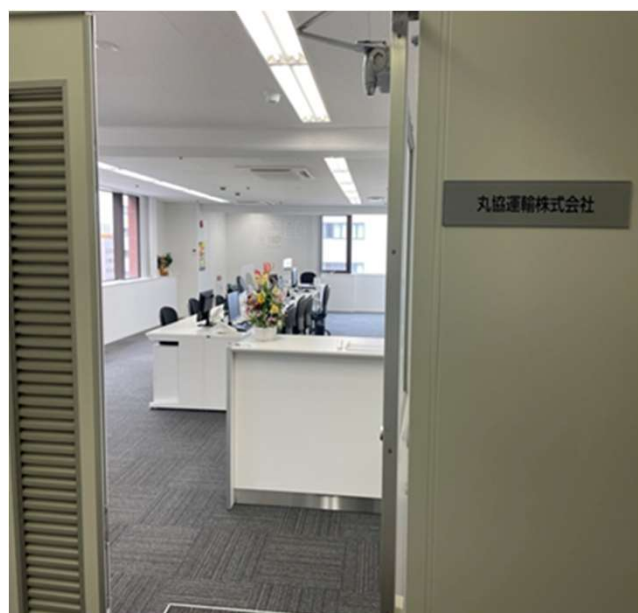
丸協にゆーす

- 丸協トピック
九州営業所 新事務所の紹介
- 今、知っておきたい物流topics
『「作業は人」でも高度なDXは可能』

九州営業所が新事務所に移転しました

新事務所に移転、8月16日より営業開始致しました。
博多駅前の新オフィスビルで、心機一転スタッフ一同頑張
張って参りますのでよろしくお願いいたします。
こちら九州営業所では、九州エリア発の車両手配、車両管
理、営業活動を行っております。

【新住所】 福岡市博多区博多駅前1-9-3博多駅前シティビル11
階



「作業は人」でも高度なDXは可能

競合する同じ業界4社の物流の責任者が一堂に会し、各社の物流の仕組みを比較しながら紹介するという、面白いテレビ番組※がありました。登場したのは、ネットスーパーの「AmazonFresh」「楽天西友」「イトーヨーカドー」「イオン」の4社です。(※9月第一週まで、Tverで視聴できます)

特に興味深かったのは、AmazonFreshと楽天西友の対比です。AmazonFreshは、入庫も出庫もすべて手作業、対する楽天西友は、高さ5mを超える巨大な自動倉庫を構え、作業者は全く歩かずにピッキングが完了します。見た目は対照的ですが、目指すところは2社とも同じです。実現したいのは、限られた空間に最大の種類の商品を集積すること、オーダーを受けてから最短の時間でピッキングして配達することです。

AmazonFreshのピッキング作業の光景は、カートに複数の袋を置き、作業者が棚をめぐる、バーコードをスキャンしながら商品を取っていく昔ながらのもの。しかし、作業支援システムにおける情報活用は、まさに最先端です。番組では、オーダー順の決め方と棚への商品の配置ルールの工夫を、「2つのヒミツ」として紹介していました。

物流DXは、決して、自動化とイコールではありません。データを駆使して、ムダな作業をなくす、減らすことこそが、真のDXです。人の作業のDX、皆さんの倉庫にも、そのチャンスは必ずあるはずです。

AmazonFresh スピード配達の2つのヒミツ

◆ナビシステム

- 重いものは先に、つぶれやすいものは最後に取りさせて、詰め直しをさせない（登録された商品サイズ・重量・壊れやすさから順番決定）
- かつ、次にとるものは今作業者がいる場所から一番近いものを指示（歩く距離が最短になるようにピッキングルートを組む）

◆棚

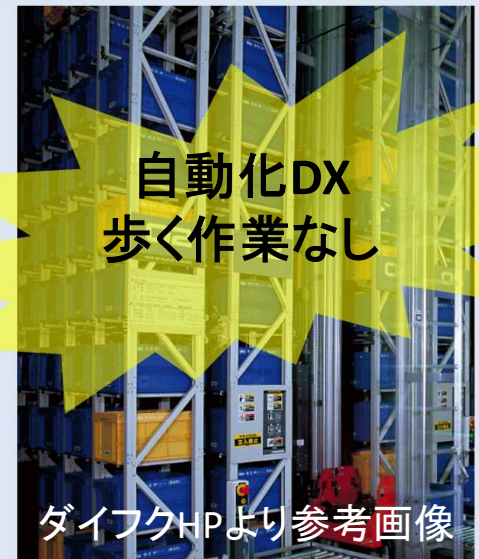
- 4温度帯別。商品はカテゴリー別ではなくサイズ別に区分し、入庫の都度場所を決めるフリーロケーション配置（すき間を作らない）
- よく出るものは複数カ所に分散配置（どこからでも取れる）
- データ分析・スタッフの意見から日々アップデート

作業DX



最短2時間
配達

自動化DX
歩く作業なし



ダイフクHPより参考画像